

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 11-353159  
 (43) Date of publication of application : 24.12.1999

(51) Int.Cl.

G06F 9/06

(21) Application number : 10-160256  
 (22) Date of filing : 09.06.1998

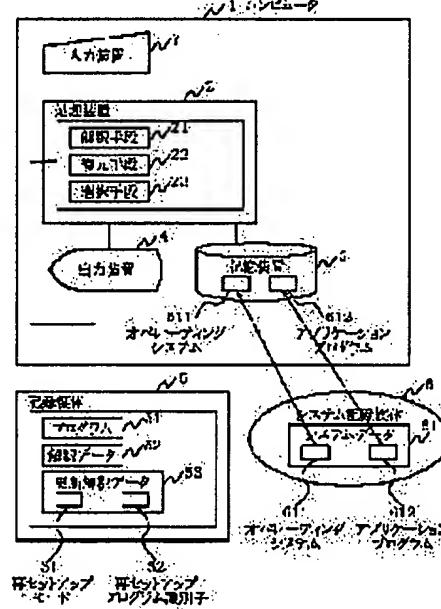
(71) Applicant : NEC SOFTWARE KOBE LTD  
 (72) Inventor : FUJII KIYOSHI

## (54) COMPUTER, RE-SETUP METHOD FOR COMPUTER, AND RECORDING MEDIUM WHERE RE-SETUP PROGRAM IS RECORDED

### (57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To eliminate the need to prepare two system recording media as re-setup media by performing the re-setup of only an operating system and the re-setup of the operating system and application with one system storage medium.

SOLUTION: An interpreting means 21 displays the operating system 611 and application program 612 to be set up again according to interpretation data 52, an operator makes a choice, and the interpretation data are updated according to the choice result. A restoring means 22 restores the operating system 611 and application program 612 by using system data 61. A selecting means 23 deletes unnecessary applications according to the updated interpretation data 53.



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-353159

(43)公開日 平成11年(1999)12月24日

(51)Int.Cl.\*

G 0 6 F 9/06

識別記号

4 1 0

F I

G 0 6 F 9/06

4 1 0 B

審査請求 有 請求項の数9 OL (全7頁)

(21)出願番号

特願平10-160256

(22)出願日

平成10年(1998)6月9日

(71)出願人 000192545

神戸日本電気ソフトウェア株式会社  
兵庫県神戸市西区高塚台5丁目3番1号

(72)発明者 藤井 澤

兵庫県神戸市西区高塚台5丁目3番1号  
神戸日本電気ソフトウェア株式会社内

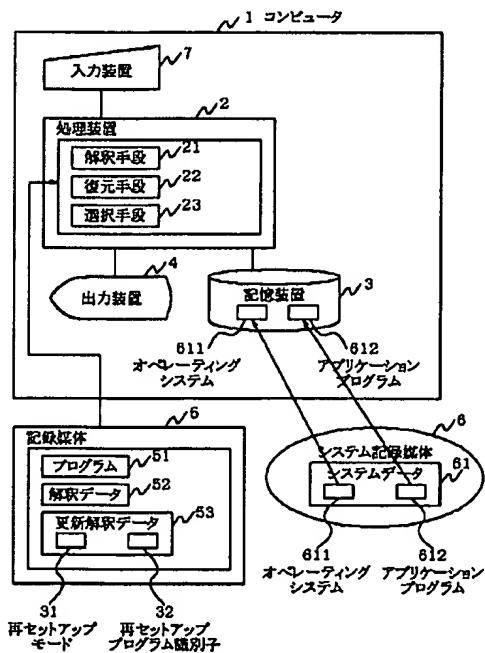
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】コンピュータ、コンピュータの再セットアップ方法、再セットアッププログラムを記録した記録

(57)【要約】 媒体

【課題】コンピュータのプログラムを再セットアップする際に、ひとつの記録媒体のみでオペレーティングシステムのみの再セットアップと、オペレーティングシステムとアプリケーションプログラムを一括して再セットアップすることができない。また、再セットアップ対象を選択する場合に、操作を必要とすることなく自動的に実行できない。

【解決手段】解釈手段21は、解釈データ52に基づき再セットアップするオペレーティングシステム611とアプリケーションプログラム612を表示し、オペレータは選択し、選択結果により解釈データを更新する。復元手段22は、システムデータ61から、オペレーティングシステム611とアプリケーションプログラム612を復元する。選択手段23は、更新解釈データ53に基づき、不要なアプリケーションの削除を行う。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータのプログラムを再セットアップする際に、再セットアップする前記プログラムを指定するデータを解釈し、自動的に再セットアップを行う手段を有することを特徴とするコンピュータ。

【請求項2】 コンピュータのプログラムを再セットアップする際に、オペレーティングシステムを再セットアップする手段と、複数のアプリケーションプログラムから選択して再セットアップする手段を有することを特徴とするコンピュータ。

【請求項3】 コンピュータのプログラムを再セットアップする際に、すべての前記プログラムを再セットアップする手段と、前記再セットアップする手段によりセットアップされた複数の前記プログラムから選択して削除する手段を有することを特徴とするコンピュータ。

【請求項4】 コンピュータのプログラムを記憶装置に再セットアップする方法において、前記コンピュータにセットアップする前記プログラムを表示する第一のステップと、前記コンピュータにセットアップする前記プログラムを選択する第二のステップと、前記第二のステップの選択結果に基づき解釈データを作成する第三のステップと、前記プログラムを記録してある記録媒体から前記プログラムを読み出し前記記憶装置に書き込む第四のステップと、前記解釈データに基づき前記プログラムを削除する第五のステップを有することを特徴とするコンピュータの再セットアップ方法。

【請求項5】 コンピュータのプログラムを記憶装置に再セットアップする方法において、前記コンピュータにセットアップする前記プログラムを指示するデータを読み込む第一のステップと、前記プログラムを記録してある記録媒体から前記プログラムを読み出し前記記憶装置に書き込む第二のステップと、前記第二のステップで読み込んだ前記データに基づき前記プログラムを削除する第三のステップを有することを特徴とするコンピュータの再セットアップ方法

【請求項6】 コンピュータのプログラムを記憶装置に再セットアップする際に、前記コンピュータにセットアップする前記プログラムを表示する第一の手段と、前記コンピュータにセットアップする前記プログラムを入力する第二の手段と、前記第二の手段の入力結果に基づき解釈データを作成する第三の手段と、前記プログラムを記録してある記録媒体から前記プログラムを読み出し前記記憶装置に書き込む第四の手段と、前記解釈データに基づき前記プログラムを削除する第五の手段を有することを特徴とするコンピュータ。

【請求項7】 コンピュータのプログラムを記憶装置に再セットアップする際に、前記コンピュータにセットアップする前記プログラムを指示するデータを読み込む第六の手段と、前記プログラムを記録してある記録媒体から前記プログラムを読み出し前記記憶装置に書き込む第

七の手段と、前記第六の手段で読み込んだ前記データに基づき前記プログラムを削除する第八の手段を有することを特徴とするコンピュータ。

【請求項8】 請求項4記載の第一乃至第五のステップをコンピュータに実行させるプログラムを記録した記録媒体。

【請求項9】 請求項5記載の第一乃至第三のステップをコンピュータに実行させるプログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はオペレーティングシステム、アプリケーションプログラムをコンピュータへセットアップする方法に關し、特に予め作成したデータの内容に従って再セットアップする方法に關する。

【0002】

【従来の技術】従来、コンピュータのオペレーティングシステムとアプリケーションプログラムを組み込んだ状態に戻す場合に、まず第一にオペレーティングシステムを再セットアップし、その後アプリケーションプログラムのセットアップを行う。あるいは、オペレーティングシステムとアプリケーションプログラムを一括して再セットアップを行う。

【0003】特開平6-51959号公報「ソフトウェア・インストール方法」では、補助記憶装置へインストールしたプログラムを構成するファイル毎に、使用時に内容が更新されるか否かの情報に従って、内容が更新されないファイルに対してインストール時に自動的に書き込み禁止属性を与えるインストール方法が開示されている。

【0004】特開平1-213717号公報「自動モード選択方式」では、記憶媒体に格納されたプログラムに対応した動作モードを選択して実行する電子装置において、記憶媒体内に予め動作モードを記録しておく自動モード選択方式が開示されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】第一の問題点は、ひとつの記録媒体のみでオペレーティングシステムのみの再セットアップと、オペレーティングシステムとアプリケーションプログラムを一括して再セットアップすることができないことがある。その理由は、従来再セットアップシステムでは、オペレーティングシステムのみの再セットアップを行う場合には、オペレーティングシステム自身のセットアップ機能を利用して再セットアップを行う為、オペレーティングシステムの記録媒体が必要であり、オペレーティングシステムとアプリケーションを一括して再セットアップする場合には、ハードディスク等のコンピュータの内部記録装置に組み込んだシステムを保存した記録媒体を必要とするからである。

【0006】第二の問題点は、再セットアップを行うア

プリケーションを選択する場合に、オペレータの操作を必要とすることなく、処理を自動的に実行できないことである。その理由は、オペレーティングシステムのみを再セットアップした後に、再セットアップを行う個々のアプリケーションを選択する必要があるからである。

【0007】特開平6-51959号公報「ソフトウェア・インストール方法」では、あるプログラムのファイルを特定のモードに自動的に変更可能ではあるが、複数のプログラムを再セットアップすることは出来ない。

【0008】特開平1-213717号公報「自動モード選択方式」では、オペレータの操作を必要とすることなく、自動的モード設定することは可能であるが、セットアップとは異なるものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明第一のコンピュータは、コンピュータのプログラムを再セットアップする際に、再セットアップする前記プログラムを指定するデータを解釈し、自動的に再セットアップを行う手段を有する。

【0010】本発明第二のコンピュータは、コンピュータのプログラムを再セットアップする際に、オペレーティングシステムを再セットアップする手段と、複数のアプリケーションプログラムから選択して再セットアップする手段を有する。

【0011】本発明第三のコンピュータは、コンピュータのプログラムを再セットアップする際に、すべての前記プログラムを再セットアップする手段と、前記再セットアップする手段によりセットアップされた複数の前記プログラムから選択して削除する手段を有する。

【0012】本発明第四のコンピュータは、コンピュータのプログラムを記憶装置に再セットアップする際に、前記コンピュータにセットアップする前記プログラムを表示する第一の手段と、前記コンピュータにセットアップする前記プログラムを入力する第二の手段と、前記第二の手段の入力結果に基づき解釈データを作成する第三の手段と、前記プログラムを記録してある記録媒体から前記プログラムを読み出し前記記憶装置に書き込む第四の手段と、前記解釈データに基づき前記プログラムを削除する第五の手段を有する。

【0013】本発明第五のコンピュータは、コンピュータのプログラムを記憶装置に再セットアップする際に、前記コンピュータにセットアップする前記プログラムを表示する第一の手段と、前記コンピュータにセットアップする前記プログラムを入力する第二の手段と、前記第二の手段の入力結果に基づき解釈データを作成する第三の手段と、前記プログラムを記録してある記録媒体から前記プログラムを読み出し前記記憶装置に書き込む第四の手段と、前記解釈データに基づき前記プログラムを削除する第五の手段を有する。

【0014】本発明第一の再セットアップ方法は、コン

ピュータのプログラムを記憶装置に再セットアップする方法において、前記コンピュータにセットアップする前記プログラムを表示する第一のステップと、前記コンピュータにセットアップする前記プログラムを選択する第二のステップと、前記第二のステップの選択結果に基づき解釈データを作成する第三のステップと、前記プログラムを記録してある記録媒体から前記プログラムを読み出し前記記憶装置に書き込む第四のステップと、前記解釈データに基づき前記プログラムを削除する第五のステップを有する。

【0015】本発明第二の再セットアップ方法は、コンピュータのプログラムを記憶装置に再セットアップする方法において、前記コンピュータにセットアップする前記プログラムを指示するデータを読み込む第一のステップと、前記プログラムを記録してある記録媒体から前記プログラムを読み出し前記記憶装置に書き込む第二のステップと、前記第二のステップで読み込んだ前記データに基づき前記プログラムを削除する第三のステップを有する。

【0016】本発明の記録媒体は、再セットアップ方法をコンピュータに実行させるプログラムを有する。

【0017】

【発明の実施の形態】次に本発明のコンピュータの再セットアップ方法の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。

【0018】図1において、本発明の再セットアップ方法を有するコンピュータ1は、キーボード等の入力装置7と、プログラム制御により動作する処理装置2と、記憶装置3と、ディスプレイ装置等の出力装置4、記録媒体5、システム記録媒体6から構成される。再セットアップするプログラムは、記録媒体5、システム記録媒体6に記録されている。記憶装置3は、再セットアップを行うオペレーティングシステム611とアプリケーションプログラム612が格納される。記録媒体5は、プログラム51と、解釈データ52と更新解釈データ53が記録されている。プログラム51は本発明の再セットアップ方法をコンピュータに実行させるためのプログラムである。解釈データ52は本再セットアップ方法をコンピュータに実行させるためのプログラム51の実行を制御するためのデータである。システム記録媒体6は、システムデータ61を記録している。システムデータ61はオペレーティングシステム611とアプリケーションプログラム612を有している。処理装置2は、解釈手段21と、復元手段22と、選択手段23を備える。解釈手段21は、入力装置7と解釈データ52から与えられた値を元にして、復元手段22を決定し、更新解釈データ53として保存する。復元手段22は、システムデータ61より、オペレーティングシステム611とアプリケーションプログラム612を読み込み、オペレーティングシステム611とアプリケーションプログラム6

1 2を記憶装置3に復元する。選択手段2 3は復元手段2 2により保存された解釈データ5 2を元に、再セットアップを行わないアプリケーションプログラム6 1 2を、復元手段2 2により復元したシステムより、削除する。

【0019】次に、図2及び図3を参照して本発明の再セットアップ方法の動作について詳細に説明する。

【0020】処理装置2は、解釈データ5 2を読み込み再セットアップ方法として、オペレーティングシステム6 1 1のみの再セットアップか、オペレーティングシステム6 1 1とアプリケーションプログラム6 1 2の再セットかを出力装置4に表示し、オペレータはアプリケーションプログラム6 1 2を選択する（ステップA-1、A-2及びA-3）。オペレーティングシステム6 1 1のみの再セットアップが選択された場合は、解釈データ5 2を元に、オペレーティングシステム6 1 1のみの再セットアップであることを示す更新解釈データ5 3を作成し、記録媒体5に更新解釈データ5 3として保存する（ステップA-4及びA 5）。

【0021】オペレーティングシステム6 1 1とアプリケーションプログラム6 1 2が選択された場合は、出力装置4に、再セットアップを行うアプリケーションプログラム6 1 2の一覧を表示し、オペレータはアプリケーションプログラム6 1 2を選択し（ステップA-4、A-1 1及びA-1 2）、オペレーティングシステム6 1 1と選択されたアプリケーションプログラム6 1 2の再セットアップであることを示す更新解釈データ5 3を作成し、記録媒体5に更新解釈データ5 3として保存する（ステップA-5）。

【0022】図3に、作成された更新解釈データ5 3を示す。更新解釈データ5 3は、再セットアップモード3 1と、再セットアッププログラム識別子3 2が登録されている。図3に示すようにオペレーティングシステム6 1 1のみの再セットアップなのか、オペレーティングシステム6 1 1とアプリケーション6 1 2の再セットアップなのかを示す再セットアップモード3 1と、記憶装置3内にセットアップされうるアプリケーションプログラム6 1 2の一覧と、これらに関する再セットアップ有無を示す再セットアッププログラム識別子3 2が登録されている。

【0023】次に、システム記録媒体6にあるシステムデータ6 1を読み込み、記憶装置3にオペレーティングシステム6 1 1と予めセットアップされている全てのアプリケーションプログラム6 1 2を復元する（ステップA-6）。次にステップA-5で保存した更新解釈データ5 3を読み込み、再セットアップモード3 1を参照し、再セットアップがオペレーティングシステム6 1 1のみであるのか、オペレーティングシステム6 1 1とアプリケーションプログラム6 1 2であるのかを調べる（ステップA-7及びA 8）。再セットアップモード3

1が、オペレーティングシステム6 1 1とアプリケーションプログラム6 1 2の再セットアップであれば、更に、削除するアプリケーションプログラム6 1 2の有無を更新解釈データ5 3の再セットアッププログラム識別子3 2のデータを参照し、判断を行う（ステップA-9）。ステップA-9において、再セットアップするアプリケーションプログラム6 1 2の選択指定があった場合、再セットアップを行わないアプリケーションプログラム6 1 2をステップA-6で復元した記憶装置3より削除する（ステップA-10）。ステップA-8において再セットアップモード3 1がオペレーティングシステム6 1 1のみの再セットアップであった場合には、全てのアプリケーションプログラム6 1 2をステップA-6で復元した記憶装置3より削除する（ステップA-13）。

【0024】次に、本発明のコンピュータの再セットアップ方法の第二の実施の形態について図3及び図4を参照して詳細に説明する。

【0025】処理装置2は、記録媒体5に更新解釈データ5 3が存在するか調べる（ステップB-1）。更新解釈データ5 3が存在する場合は、更新解釈データ5 3を読み込み、出力装置4に実行確認メッセージを表示し、オペレータに実行の確認を行う（ステップB-8及びB-9）。更新解釈データ5 3が存在しない場合には、出力装置4にオペレーティングシステム6 1 1のみの再セットアップか、オペレーティングシステム6 1 1とアプリケーションプログラム6 1 2の再セットかを表示し、オペレータはアプリケーションプログラム6 1 2を選択する（ステップB-2、及びB-3）。ステップB-3において、オペレーティングシステム6 1 1のみの再セットアップが選択された場合は、更新解釈データ5 3を元に、オペレーティングシステム6 1 1のみの再セットアップであることを示す更新解釈データ5 3を作成し、記録媒体5に更新解釈データ5 3として保存する（ステップB-6）。オペレーティングシステム6 1 1とアプリケーションプログラム6 1 2が選択された場合は、出力装置4に、再セットアップを行うアプリケーションプログラム6 1 2の一覧を表示し、オペレータはアプリケーションプログラム6 1 2を選択し（ステップB-10及びB 11）、オペレーティングシステム6 1 1と選択されたアプリケーションプログラム6 1 2の再セットアップであることを示す更新解釈データ5 3を作成し、記録媒体5に更新解釈データ5 3として保存する（ステップB-6）。次に出力装置4に実行確認メッセージを表示し、オペレータに実行の確認を行う（ステップB-7）。ステップB-9、もしくはステップB-7において、オペレータに実行することを指定された場合は、システムデータ6 1の読み込みと復元を行う（ステップB-12）。

【0026】図3に、作成された更新解釈データ5 3を

示す。更新解釈データ53は、再セットアップモード31と、再セットアッププログラム識別子32が登録されている。ステップB-5で保存した更新解釈データ53、もしくはステップB-7で読み込んだ更新解釈データ53には、オペレーティングシステム611のみの再セットアップなのか、オペレーティングシステム611とアプリケーションプログラム612の再セットアップなのかを示す再セットアップモード31と、記憶装置3内にセットアップされうるアプリケーションプログラム612の一覧と、これらに関する再セットアップ実行を示す再セットアッププログラム識別子32が登録されている。

【0027】次に、処理装置2はシステム記録媒体6にあるシステムデータ611を読み込み、記憶装置3にオペレーティングシステム611と予めセットアップされている全てのアプリケーションプログラム612を復元する(ステップB-12)。次にステップB-6で保存した更新解釈データ53、もしくはステップB-1で読み込んだ更新解釈データ53から、再セットアップモード31のデータを参照し、再セットアップがオペレーティングシステム611のみであるのか、オペレーティングシステム611とアプリケーションプログラム612であるのかを調べる(ステップB-13)。再セットアップモード31のデータが、オペレーティングシステム611とアプリケーションプログラム612の再セットアップであれば、更に、削除するアプリケーションプログラム612の有無を更新解釈データ53の再セットアッププログラム識別子32のデータを参照し、判断を行う(ステップB-14)。ステップB-14において、再セットアップするアプリケーションの選択指定があった場合、再セットアップを行わないアプリケーションプログラム612をステップB-12で復元した記憶装置3より削除する(ステップB-15)。ステップB-13において再セットアップモード31のデータがオペレーティングシステム611のみの再セットアップであった場合には、全てのアプリケーションプログラム612をステップB-12で復元した記憶装置3より削除する(ステップB-16)。

【0028】

【発明の効果】本発明第一の効果は、1つのシステム記録媒体でオペレーティングシステムのみの再セットアップ、またはオペレーティングシステムとアプリケーションの再セットアップが行えるため、オペレーティングシ

ステムのみの再セットアップ媒体と、オペレーティングシステムとアプリケーションの再セットアップ媒体の、2つのシステム記録媒体を用意する必要がなくなる。その理由は、オペレーティングシステムとアプリケーションを一旦全て記憶装置に復元した後に、不要なアプリケーションを、選択手段で自動的に削除するからである。

【0029】本発明第二の効果は、複数のコンピュータにオペレーティングシステムと特定のアプリケーションのみを再セットアップを行う場合に、自動的に行えることである。その理由は、解釈手段により、再セットアップを行う対象を再セットアップ情報として記録媒体に保存でき、再セットアップ時に、保存した再セットアップ情報を読み込み、不要なアプリケーションを選択手段により自動的に削除するからである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明第一の実施の形態の再セットアップシステムの構成を示すブロック図である。

【図2】本発明第一の実施の形態の再セットアップシステムの動作を示す流れ図である。

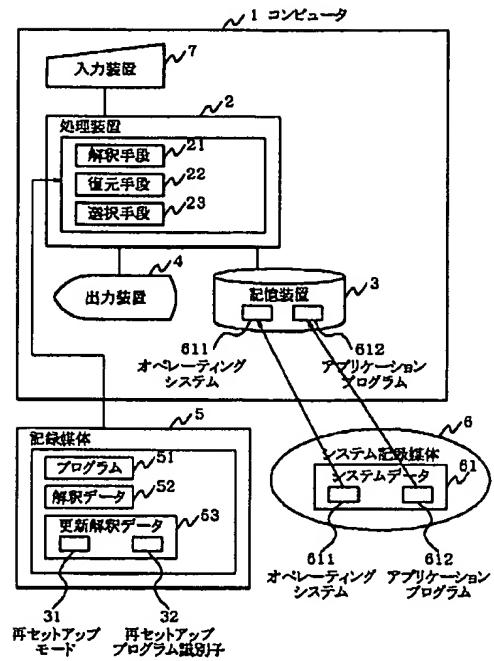
【図3】本発明の実施の形態の再セットアップシステムの解釈データ、更新解釈データの内容である。

【図4】本発明の第二実施の形態の再セットアップシステムの動作を示す流れ図である。

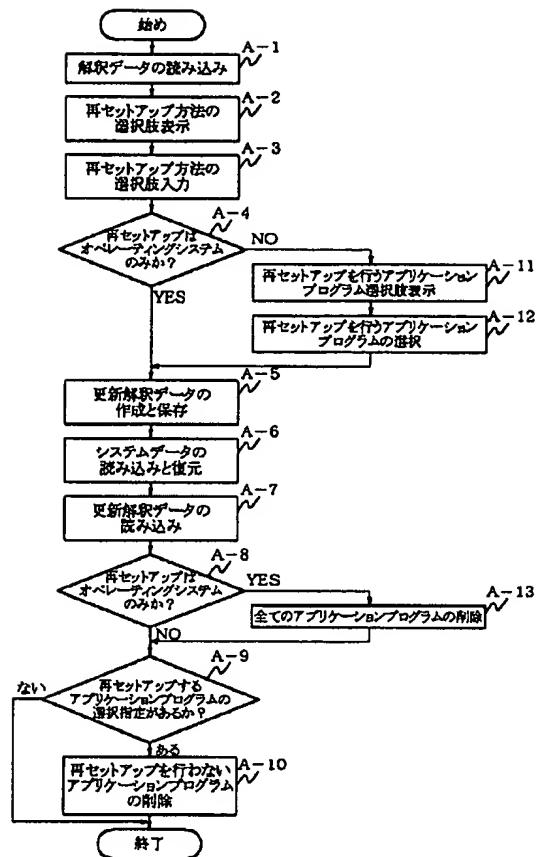
【符号の説明】

- 1 コンピュータ
- 2 処理装置
- 3 記憶装置
- 4 出力装置
- 5 記録媒体
- 6 システム記録媒体
- 7 入力装置
- 21 解釈手段
- 22 復元手段
- 23 選択手段
- 31 再セットアップモード
- 32 再セットアッププログラム識別子
- 51 プログラム
- 52 解釈データ
- 53 更新解釈データ
- 61 システムデータ
- 611 オペレーティングシステム
- 612 アプリケーションプログラム

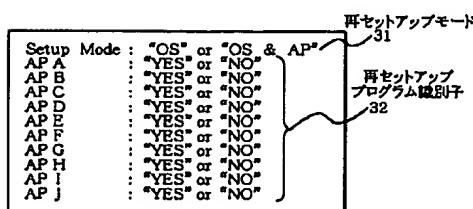
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図4】

